

自由なダンスで健康に

全身を使って自由に表現するコンテンポラリーダンスを通じ、自身の健康を改善する「ダンスセラピー」のワークショップが2日、水俣市明神町の水俣メモリアルであった。

不随意運動の症状がある難病ハンチントン病患者の心身を回復するセラピーに取り組むフランス人舞踏家フィリップ・シェールさん(46)が来県して開催。フィールドワークで訪れていた宮崎国際大学の学生ら約10人が参加した。

フィリップさんは、学生らとともに1列に並び、先頭の人の動作や移動ルートをまねながら動く即興のダンスを披露。参加した同大3年の黒木秀美さんは「何も考えず、勝手に体が動くようで楽しかった」。フィリップさんは「例え前の人と同じ動きができなくても、即興で新しい動きが生まれ、踊りになる。来年は、水俣病被害者とともに、ダンスに取り組んでみたい」と話した。(山本遼)

水俣市 フランス人舞踏家がセラピー



一列に並んで先頭の動きをまねるダンスに取り組むフランス人舞踏家のフィリップ・シェールさん(右)と参加者ら。水俣市